

フォーラム実行委員会報告

学園祭協賛行事のひとつとして、学園祭期間中の11月4日(土)に図書館の第2閲覧室で「市民利用をする中で ～わたしの見た大学図書館～」というテーマで図書館フォーラムを開催いたしました。

今回は、本学図書館で市民利用登録をしておられる2名の方をお願いして、本学図書館をお知りになったきっかけから具体的にどのようにご利用頂いているかなどの体験談、情報化時代の現代において何が大切なことかなどをお話いただきました。当日は37名の方がフォーラムを聞きに来られました。

当日フォーラムを聞きに来られた方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



本学図書館の市民利用制度は、平成12年4月より始まり、以来市民利用制度に登録される方は年々増え続けております。市民利用される方々は、一般社会での経験があり、社会に出てからも継続的に勉強していくことが必要不可欠という事をフォーラムでお話いただくことで、学生利用者の方々にも役立つ事が必ずやあるという趣旨で今回は特に市民利用されている方に発表をお願いいたしました。

今回の発表者は、お二人とも公立高校での英語の教員の経験がある方でした。教員採用試験を受験するために、またご自分の授業を効果的にすすめるために、そして論文を作成するためにフルに図書館を活用された事などをお話されました。発表終了後の質疑応答においても、「教員採用試験向けの雑誌で特に印象に残った記事

はありますか?」、「英語学習で多読は大切なことですが、具体的にどんな図書を生徒に薦められていますか?」など、教職課程を履修していたり、教員採用試験を目指している学生さんなどが何人かおられるようで、非常に熱心に質問されていました。

このフォーラムで一般市民の方も熱心にご自分の勉強や研究のために図書館を利用されているという事が学生の皆さんには大変刺激になったのではないかと思います。

発表の中には公立高校では、AET (Assistant English Teacher) と呼ばれる外国人の先生がおられて、その方々の情報収集力は、非常に素晴らしいというお話がありました。外国の図書館では、皆幼い時から自ずと本に慣れ親しめる雰囲気作りがなされていて、そこで自然と情報収集力などが磨かれているようです。学生の皆さんが本学を卒業し国際社会に出られたときに、このように情報収集力にたけた外国人の方々と対等に渡り合うためには、優れた情報収集力を持つ事が、必要不可欠になってきます。そのために本学図書館では、利用者の皆さんが情報収集能力を高めていただけるように今後ますます学習支援をしていく必要性を感じました。このことを来年度のガイダンス等で役立てていきたいと思っております。

今後も聞きに来られる方に満足していただけるフォーラムができるように企画、検討をして参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

委員長 栄 咲子

